

## 館山海上技術学校マリンセミナーに参加

国立館山海上技術学校主催のマリンセミナーが7月28、29の両日同校で開催され、全国海運組合連合会と関東地区船員対策協議会が協賛、日本内航海運組合総連合会が協力した。

同校で毎年7月最終土曜日と日曜日の2日間で開催されているマリンセミナーは、夏休み期間中に生徒の保護者達が泊まりがけで、同校の海上実習、カッター訓練を始め航海シミュレーター実習、パソコンや座学の授業などを体験する行事。保護者からは「日頃親元を離れている子供達の頑張り振りが理解でき、親子のコミュニケーションも高まり、保護者同士の懇親も図れる」と好評だ。

今回は全海運から小比加恒久会長（関東船対協会会長）、中島繁理事事務局長代理、総連合会から畔柳健彦広報室副部長が出席。講師は、宮古海上技術学校（現宮古海上技術短期大学）出身の大澤渡東都海運(株)取締役営業部長が務め、内航海運の役割や内航船舶の紹介、内航船員の就職状況、内航船員の仕事・船内生活と労働環境・待遇、内航業界と内航船員の将来像、同世代の息子を持つ親としての期待など、についてわかりやすく講演した。

その後に開かれた恒例のバーベキュー・パーティーの会場でも、保護者たちは小比加会長、大澤氏に子供たちの将来を託す内航海運について熱心に質問していた。



大澤講師（上）と講演会場の保護者達（右上）、学校関係者と保護者たちとのバーベキュー・パーティー（右中・下）

